

おいらせ町監査委員告示第1号

地方自治法第199条第9項の規定により財政援助団体等監査の結果を
次のとおり公表する。

令和5年8月1日

おいらせ町監査委員 柏崎 堅一

おいらせ町監査委員 木村 忠一

財政援助団体等監査報告書

1. 監査の種類

財政援助団体等監査

2. 監査実施月日

令和5年6月29日（木）、30日（金）の2日間

3. 監査の対象

地方自治法第199条第7項の規定により、令和4年度において当町が財政的援助を与えている団体（以下「財政援助団体」という。）の中から団体を抽出し、次のとおり監査を実施した。

(1) 本村郷土芸能保存会

おいらせ町郷土芸能団体補助金

(2) 百石郷土芸能連絡協議会

おいらせ町郷土芸能団体補助金

(3) 3町内会

おいらせ町コミュニティ助成事業費補助金

(4) 2地域づくり協議会

おいらせ町地域づくり協議会補助金

(5) おいらせ町商工会

おいらせ町商工会補助金

(6) 一般社団法人青森県立百石高等学校後援会

百石高等学校高校生レストラン支援補助金

(7) 一般社団法人青森県立百石高等学校後援会

百石高等学校支援事業費補助金

(8) 木ノ下児童センターみらい館 クローバーの会

おいらせ町母親クラブ活動費補助金

(9) 木内々児童センターひまわり館 ひまわりクラブ

おいらせ町母親クラブ活動費補助金

4. 監査の目的

財政援助団体の出納その他の事務の執行が、適正かつ効率的に行われているかを主眼とし、財政援助団体に対する所管課の指導監督が適正に行われているかに留意して実施した。

5. 監査の方法

事前に提出を求めた資料に基づき、所管課職員から補助金等にかかる事務事業の執行状況等について説明を求め質疑等を行ない、監査を実施した。

6. 監査の結果

当年度の財政援助団体の補助金に係る出納その他の事務及び所管課の補助金交付に係る事務は、適正に処理されているものと認められた。

今後も経理等の事務は適正かつ正確に行われたい。

本村郷土芸能保存会

おいらせ町郷土芸能団体補助金

1 財政援助団体の名称及び代表者名

本村郷土芸能保存会
会長 田中 正一

2 財政援助の目的

当該補助金は、おいらせ町内の郷土芸能団体による郷土芸能の保存、伝承、後継者育成の推進を通じ、おいらせ町の伝統文化の振興を図ることを目的とする。

3 補助金交付額等

補助金交付額	申請年月日	交付指令年月日	交付年月日
225,000 円	令和 4 年 4 月 21 日	令和 4 年 5 月 12 日	令和 4 年 5 月 26 日

4 監査の結果

当該補助金は、交付期日に確実に受け入れられ、補助の目的に沿って事業が行なわれたことを確認した。

この事業により、郷土芸能の保存、伝承、後継者育成の推進が図られていることが認められた。

現在、子供の在籍は9名程ということであるが、保存会がより活性化し、さらに後継者が育成されることを期待するものである。発表の場が増えることにより子供たちのやる気も増えると思う。

指摘事項は特になかった。

百石郷土芸能連絡協議会

おいらせ町郷土芸能団体補助金

1 財政援助団体の名称及び代表者名

百石郷土芸能連絡協議会

会長 小向 政治

2 財政援助の目的

当該補助金は、おいらせ町内の郷土芸能団体による郷土芸能の保存、伝承、後継者育成の推進を通じ、おいらせ町の伝統文化の振興を図ることを目的とする。

3 補助金交付額等

補助金交付額	申請年月日	交付指令年月日	交付年月日
290,000 円	令和 4 年 4 月 21 日	令和 4 年 5 月 13 日	令和 4 年 5 月 26 日

4 監査の結果

当該補助金は、交付期日に確実に受け入れられ、補助の目的に沿って事業が行なわれたことを確認した。

この事業により、郷土芸能の保存、伝承、後継者育成の推進が図られていることが認められた。

当協議会は、5 団体（えんぶり組、神楽、獅子舞、日ケ久保虎舞、百石駒踊りの会）で構成され、70 名程在籍している。各団体の方々は人数確保が難しくなっていると思うが、さらに後継者が育成されることを期待するものである。

指摘事項は特になかった。

町内会（3団体）

おいらせ町コミュニティ助成事業費補助金

1 財政援助団体の名称及び代表者名

3 町内会

①本村町内会、②上新町町内会、③間木町内会

2 財政援助の目的

当該補助金は、財団法人自治総合センターで決定したコミュニティ事業にかかわる経費を補助し、地域のコミュニティ活動の充実・強化を図ることにより、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与することを目的とする。

3 補助金交付額等

補助金交付額	申請年月日	交付指令年月日	交付年月日
19,400,000 円	①令和4年4月15日	①令和4年4月20日	①令和4年5月19日
	②令和4年5月23日	②令和4年5月27日	②令和4年6月9日
	③令和4年7月11日	③令和4年7月13日	③令和4年8月4日

4 監査の結果

当該補助金は、交付期日に確実に受け入れられ、補助の目的に沿って事業が行われたことを確認した。

補助金は町を通して財団法人自治総合センターに申請し、交付されるものである。

3 町内会がそれぞれ下記の事業を実施し、地域のコミュニティ活動の充実・強化を図っており、地域社会の健全な発展と住民の福祉の向上に寄与していることが認められた。今後も当該補助金を大いに活用し、コミュニティ活動を推進してほしい。

指摘事項は特になかった。

[令和4年度実施事業]

①本村町内会

自走式芝刈り機及び草刈り機、エンジン発電機など購入（補助金額 1,900,000 円）

②上新町町内会

まつり用半纏等購入、まつり用太鼓修繕など（補助金額 2,500,000 円）

③間木町内会

コミュニティセンター大規模修繕（補助金額 15,000,000 円）

地域づくり協議会（2団体）

おいらせ町地域づくり協議会補助金

1 財政援助団体の名称及び代表者名

2 地域づくり協議会

①木内々小学校区地域づくり協議会、②古間木山地域づくり協議会

2 財政援助の目的

当該補助金は、地域づくり協議会が行う活動等に対して補助金を交付し、地域の課題解決等の自主的な活動を支援することを目的とする。

3 補助金交付額等

補助金交付額	申請年月日	交付指令年月日	交付年月日
1,183,762円	①令和4年8月10日	①令和4年8月10日	①令和4年8月25日
	②令和5年3月31日	②令和5年3月31日	②令和5年5月18日

4 監査の結果

当該補助金は、交付期日に確実に受け入れられ、補助の目的に沿って事業が行われたことを確認した。

2地域づくり協議会がそれぞれ下記の事業を実施し、単位町内会では困難な地域の課題解決等のため、自主的な活動が図られた。

交通安全対策としてのカーブミラーの設置は、行政が実施するより地域の手で実施するほうが早いなどの利点が認められた。また、地域の広報発行により、地域の連帯感が醸成されている。今後も大いに当該補助金を活用してほしい。

指摘事項は特になかった。

[令和4年度実施事業]

①木内々小学校区地域づくり協議会

歩道の草刈り及び除雪活動、カーブミラー設置等（補助金額 963,236円）

②古間木山地域づくり協議会

どんと焼き、集会所修繕、広報古間木山発行等（補助金額 220,526円）

おいらせ町商工会

おいらせ町商工会補助金

1 財政援助団体の名称及び代表者名

おいらせ町商工会
会長 木村 雅行

2 財政援助の目的

当該補助金は、おいらせ町の商工業の総合的な経営改善とともに小規模企業者の経営の近代化を図り、地域経済の発展に寄与することを目的としておいらせ町商工会に交付する。

3 補助金交付額等

補助金交付額	申請年月日	交付指令年月日	交付年月日
3,000,000 円	令和4年6月1日	令和4年6月8日	令和4年6月23日

4 監査の結果

当該補助金は、交付期日に確実に受け入れられ、補助の目的に沿って事業が行われたことを確認した。

おいらせ町商工会の会員数は500名を超え、町村のなかでは非常に多く、また増減数はほぼ横ばいとのことで、良いことである。

当該補助金は、経営改善普及事業として指導職員の人件費の一部に使われているほか、地域総合振興事業としてチラシ作成に使用されており、地域の商工事業者の支援、育成が図られた。

指摘事項は特になかった。

一般財団法人 青森県立百石高等学校後援会

百石高等学校高校生レストラン支援補助金

1 財政援助団体の名称及び代表者名

一般財団法人 青森県立百石高等学校後援会
理事長 澤 上 訓

2 財政援助の目的

当該補助金は、青森県立百石高等学校の教育振興を支援し、地域の活性化、地域を担う人材育成を目的とする青森県立百石高等学校後援会の事業に対し、交付する。

3 補助金交付額等

補助金交付額	申請年月日	交付指令年月日	交付年月日
260,181 円	令和4年6月1日	令和4年6月6日	令和4年6月16日

4 監査の結果

当該補助金は、交付期日に確実に受け入れられ、補助の目的に沿って事業が行われたことを確認した。

高校生レストランは、百石高等学校の調理クラブが学校で身につけた知識を生かす場として開業し、職業観や勤労観の育成、世代を超えた人々との交流、地産地消を生かしたメニュー開発による地域貢献や地域に有用な人材育成に寄与しており、大変すばらしい事業である。

令和4年度は、コロナウィルス感染症の影響によりおいらっせ交流館で、お惣菜の販売を2回実施している。(合計930パック)

令和5年度は部員数不足により高校生レストランを実施しないことになり、残念であるが、令和6年度は実施することを期待する。

指摘事項は特になかった。

一般財団法人 青森県立百石高等学校後援会

百石高等学校支援事業費補助金

1 財政援助団体の名称及び代表者名

一般財団法人 青森県立百石高等学校後援会
理事長 澤 上 訓

2 財政援助の目的

当該補助金は、青森県立百石高等学校の教育振興を支援するため、青森県立百石高等学校後援会の事業に対し、交付する。

3 補助金交付額等

補助金交付額	申請年月日	交付指令年月日	交付年月日
761,810 円	令和 4 年 6 月 27 日	令和 4 年 6 月 28 日	令和 4 年 7 月 14 日

4 監査の結果

当該補助金は、交付期日に確実に受け入れられ、補助の目的に沿って事業が行われたことを確認した。

学力向上による人材育成、イメージアップによる生徒の確保、保護者の教育費負担軽減等を目的とした下記事業を実施し、その効果として検定・学習塾・模擬試験受験料の助成を受けた生徒が弘前大学に合格している。素晴らしい実績となった。

少子化が進展している現在、町内にある百石高等学校の生徒数を維持することは難しいことですが、学校の統廃合の対象とならないよう魅力ある高校づくりの支援をこれからも展開してほしい。

指摘事項は特になかった。

[令和 4 年度実施事業]

- ・スキルアップ支援（資格取得検定料支援）
- ・キャリア教育支援（大学・専門学校・企業の見学会や説明会参加の支援）
- ・新聞等購読支援（新聞購読料）
- ・学力向上支援（塾費用や課外授業の支援）

木ノ下児童センターみらい館 クローバーの会

おいらせ町母親クラブ活動費補助金

1 財政援助団体の名称及び代表者名

木ノ下児童センターみらい館
クローバーの会
会長 福田 由佳子

2 財政援助の目的

当該補助金は、家庭児童の健全な育成を図るため、母親クラブが行う活動を育成助長するため要する費用に対して、交付する。

3 補助金交付額等

補助金交付額	申請年月日	交付指令年月日	交付年月日
306,000 円	令和4年5月6日	令和4年5月6日	令和4年5月26日

4 監査の結果

当該補助金は、交付期日に確実に受け入れられ、補助の目的に沿って事業が行われたことを確認した。

家庭及び地域において、児童の育成を推進するために、母親クラブの活動の促進を図り、地域児童の福祉向上が図られた。

利用人数は1日180人程で、子供が児童館で楽しく過ごせるような行事を積極的に実施している。

地域の母親クラブが活動することにより、親も児童館の行事に参加しやすくなり、子供にも働く親にとってもいい制度である。

指摘事項は特になかった。

木内々児童センターひまわり館 ひまわりクラブ

おいらせ町母親クラブ活動費補助金

1 財政援助団体の名称及び代表者名

木内々児童センターひまわり館
ひまわりクラブ
会長 高淵 華奈子

2 財政援助の目的

当該補助金は、家庭児童の健全な育成を図るため、母親クラブが行う活動を育成助長するため要する費用に対して、交付する。

3 補助金交付額等

補助金交付額	申請年月日	交付指令年月日	交付年月日
153,000 円	令和4年5月6日	令和4年5月6日	令和4年5月26日

4 監査の結果

当該補助金は、交付期日に確実に受け入れられ、補助の目的に沿って事業が行われたことを確認した。

家庭及び地域において、児童の育成を推進するために、母親クラブの活動の促進を図り、地域児童の福祉向上が図られた。

利用人数は1日60人程で、子供が児童館で楽しく過ごせるような行事を積極的に実施している。

地域の母親クラブが活動することにより、親も児童館の行事に参加しやすくなり、子供にも働く親にとってもいい制度である。

指摘事項は特になかった。